

## 株式会社 大山建工



「ただいまより第4回大山建工主催の植樹祭を開催します」  
メガホンの声が響くすぐ前に、帽子を被った倉石保育園の園児21人が並んでいる。開会の挨拶に立った大山慎司社長が優しく語りかけるように、「今日植えるスギの苗木は、何年くらいたったら、お家を建てる木として使えるようになるでしょうか?」。小首をかしげる園児たち。笑みを浮かべて大山社長が、「建築材として使えるようになるには、50年ぐらいかかるんですよ」。4年前の第1回植樹祭で30cmだったスギの苗木が、今は170cmに伸びている。時間はかかるけど刻々と生長し、その過程で二酸化炭素を吸収して地域環境を守りながら、やがて成木になれば「家」となって人々の暮らしを支えてくれるのが樹木なのだ。

（株）大山建工本部の駐車場に大型バスが1台停まっていた。正面の窓ガラスに『大山建工』と書かれたプレート。貸切バスだ。午前8時30分。次々と車がやってきた。皆揃って長靴スタイル。順々にバスに乗り込む。

8時45分出発。途中バスは、大山建工の本社に寄って大工たちを乗せ、五戸町倉石の町有林へ向かう。そこで「植樹祭」が行われるのだ。

現地に到着すると、バスと同じくらいの人数がすでに待機していた。「大山建工」のブルーのジャンパーを着た社員のうち、大半が大工である。関連会社や倉石保育園の園児（年長組）を含め総勢約100人が参加。植樹祭は、青森県産材を使った家づくりを全国展開している大山建工が、ふるさとへの恩返しと、次世代の大工たちが使う「木」を育てようと五戸町、青森県と3者で20



植樹祭に参加した倉石保育園の園児たち

15年（平成27年）に締結した「青森県森林づくり協定」に基づき行っている。今回が4回目、期間は10年間。前半の5年間は、年に1度スギの苗木を

# スギ苗木500本を植樹 木を育て家づくりに使う



苗木を植える大山建工の大工たち

0.2haに500本植える。そのうち50本は青森県産業技術センター林業研究所が提供する無花粉スギ。2021年から後半の5年間は、下刈りなどの手入れをして2500本の苗木の生長を管理していく。

### 大工が植え大工が使う ふるさとの木を次代へ

参加者が6班に分かれ、植樹を開始。剣先スコップで深さ30

cmほどの穴を掘り、苗木を植える。土を戻したら周りを踏み固めるのがコツ。そうしないと枯れるのだそう。大人が掘ってくれた穴に園児たちも苗木を植え、足の代わりに手でぼんぼとたたいていた。

苗木がこれから生長し、住宅の木材として使われるまでには50年。その頃には園児たちも老齢に差ししかかっている。気が遠くなるような長い時間がかか



大人が掘ってくれた穴に園児たちが苗木を植える

るところが林業の特徴。無花粉スギを林業研究所が開発するまでに15年もかかっているのだ。急いでも木は育たない。だからこそ、伐つては植えるを繰り返してきちんと繋いでいかなければならない。

植樹に一汗かいた大山重則会長（2019年4月、大山建工創業40周年の節目に社長から会長に就任）は、「青森の木

良さを再認識したエピソードをこう話す。

「福岡市に建てた料亭『嵯峨野』（2012年竣工）の若女将さんが、五戸から運んだ木材を見てこう言ったんです。『こんなに素晴らしい木があるんですねえ、青森には』と。感嘆していましたよ。当社では建築家の前田伸治先生と一緒に、南部アカマツの丸太を組む木組みと、数



自分の手で穴を掘って苗木を植えた体験を通じて“木への関心”が育つ



住宅の木材として使われるまでには50年かかるというスギの苗木

寄屋建築を取り入れた家を全国各地に建てていますが、青森の木を称賛するのは若女将さんだけではありません。建てた先々で褒められます。近年では、東京の深川に庫裏・書院が完成（2018年）した慧然寺の住職さんもそうでした。心底ほれぼれと、『青森の木は素晴らしい』と。設計する前田先生も、『青森には良い木がまだまだ一杯ある。大径木で目が詰まっているから梁や柱として使いたいところに使える。材料を自由に使えることくらい贅沢

なことではない。青森はまさに“木の宝庫”だと認めていらっしやる。当社を支えているのは青森の木であり、建てる大工たちです。地域資源である木を植え、育て、“大山の大工衆”の技も若手へと継承していく意味を込めたイベントがこの植樹祭なのです」

閉会式。再び大山社長の前に並んだ園児たちは、小さな口を大きくあけて元気よく、「ぼくたち、わたしたちが、うえた木が、どんなふうに、育つか、たのしみです！」

みんなの住みやすい



## 株式会社 大山建工

本社 ●三戸郡五戸町大字切谷内字淋代14-1  
TEL.0178-68-3353 FAX.0178-68-2454

本拠地 ●八戸市大字河原木字千刈田7-1  
TEL.0178-21-3055 FAX.0178-21-3033  
<http://ooyamano-ie.jp/>

内舟渡常設展示場 ●八戸市長苗代字内舟渡84-13 産業道路沿い  
TEL.0178-21-3055

盛岡営業所・展示場 ●盛岡市厨川1丁目21-30  
TEL.019-601-7311 FAX.019-601-7134



**株式会社 大山建工**

立ち姿に気品が漂う

ユーザー訪問

## 正栄山本寿寺の「鐘楼」

**DATA** 八戸市吹上1丁目4の4 2019年8月竣工  
 ■使用青森県産材/ケヤキ(柱、貫、桁)、スギ(垂木)など。

伝統技術  
を引き継ぐ

「正栄山の晩鐘」として八戸の人々に古くから親しまれたという本寿寺の「鐘楼」。正式には「正栄山本寿寺」で、山号が正栄山、寺号が本寿寺。《…鐘を撞けば、鐘音が夕焼け空に響き…》と昔の記録に残るままに今も鳴り渡る。繁華街に近い街なかの緩い坂道を上った高台に「鐘楼」は立っている。木肌が真新しいのは建て替えたばかりだから。高さ8m。羽のように軒が張り出した寄棟屋根を4本の太い柱が支えている。2019年春の強風で以前の鐘楼が壊れ、日本の伝統技術を引き継ぐ家つりを展開している(株)大山建工に再建の声がかかった。



八戸市街に立つ真新しい木肌の「鐘楼」

設計と大工の技が融合  
 美しさを生む伝統技術

「少し離れた所から見てください」と大山重則会長に手招きさ

れ、そこから「鐘楼」を振り返った。枯木(はねぎ)を入れて持たせた1間(約1・8m)幅の屋根裏の化粧垂木が美しく、「貫」を通した四方の柱が屋根を支えている



結木を入れた1間幅の屋根裏のスギの化粧垂木が美しい



鐘樓の屋根を支える「貫」を通したケヤキの柱



壁や筋交いを付けず「貫」の力だけで重い屋根と吊り鐘を支えている



「目に見えない箇所に伝統技術が施されている」と大山会長

立ち姿に気品が漂う。垂木のスギも、貫や柱のケヤキも、青森県産材である。「柱がこれより少し太くても細くても品は損なわれません」と大山会長は話す。「太ければどことなく野暮つたくなるし、細ければ華奢に見えます。軒の出にしても、これより長くても短くてもバランスが悪い。屋根の反りにしても深からず浅からず、

全体にバランスが取れているところに美しさが滲み出るので「数寄屋建築の前田伸治氏（前田伸治+暮らし十職）二級建築士事務所代表、伊勢市」の設計ならではの美しさなのだ。

大山会長によると、柱の下方をやや外側に広げて「踏ん張る」建て方を、「四方転び」と呼ぶのだそう。壁や筋交いを付けない「吹き放し」で重い屋根と鐘を支えているのが「貫」の力である。4本の柱の間に二段ずつ横に通した分厚い板が「貫」で、柱に直角に差し込んだ貫どうしが内部で組み合わさって一体となり、外からクサビを打ち込んで固定する。8枚の貫と4本の柱とで風圧や地震に耐える力を発揮させるのが伝統の技だ。

——「設計」と「大工の技」との融合なのですね。

**大山会長の話** 当社の大工も、初めからここまでの技術があったわけではありません。前田伸治先生と一緒に仕事をす



柱の下方をやや外側に広げて“踏んばる”建て方を「四方転び」と呼ぶ



大山の大工衆は皆社員  
先輩目指し若手が育つ  
です。



慧然寺全景



庫裡にも数寄屋建築にも青森県産材を美しく生かす大工の技



慧然寺の床の間に立つ皮付きの床柱も南部赤松



五戸町のS様邸(2016年竣工)の和室

——前田氏は、千葉のW様邸（2014年竣工）での講演で「大山の大工衆」の技術の高さをこう評価していましたね。『……「門」というと切妻が主流ですが、ここ（W様邸）では日本庭園にふさわしいように寄棟にしました。技術的に寄棟は難しく、門柱があつて、その門柱から両脇に出ている腕木だけで屋根を支えているのですが、これは相当な技術がないとできません。それを大山建工の大工さんは難なくこなしてくれました』と。その技術がこの鐘楼にも発揮されているのですね。

**大山会長の話** 当社にいる30人の大工は皆社員です。下請け大工じゃなく、社員なんです。だから東京や千葉など遠方で仕事を請けられるのです。九州・博多の料亭「嵯峨野」（2012年竣工）も、京都の大徳寺瑞宝院餘慶庵（2018年竣工）も、東京・深川の慧然寺の庫裡・書院（2018年竣工）の



2018年に完成した東京・深川の臨濟宗円覚寺慧然寺に完成した「庫裡・書院」。反り屋根の破風や玄関前の下屋の桁に南部赤松が使われている



寄棟の門構えが見事な松戸市のW様邸(2014年竣工)

ときも、大工たちが現場近くの宿舎に何か月も寝泊まりして現場を納めてきました。一つ屋根の下で生活することで若手大工は先輩大工から身近に学び技も習得して育っていくのです。中里政義棟梁の一番弟子の細越克憲大工は慧然寺で棟梁を務め、細越大工を目指す若手の野村豊大工は八戸市のM



様邸(2019年竣工)で棟梁を努めるまでに成長してくれました。  
——中里棟梁が慧然寺の現場でこう話していたのが印象に残っています。「若手大工たちが喜々と働いている。石膏ボードを張るといった普通の住宅の現場では見られない良い表情だ。やりがいがあるか

①東京都のS様邸 ②福岡市の料亭嵯峨野(2012年竣工)  
——大山建工では建築家の前田伸治氏と共に全国に数寄屋建築を展開している



中里政義棟梁率いる“大山の大工衆”

らきびきびと動くようにもなるし、それが表情にも出る。伝統の技が大工を奮い立たせるんだね」と。

大山会長の話 手の込んだ造りをしなければ現場は早く完成しませんが、1枚1枚板を張るよ

りは、サイディングや石膏ボードを張ったほうが工期は短縮できます。現場が早く回ればお金の入りも良くなります。儲かるのです。儲けを優先して伝統技術を捨てても家は建つけど、そういう家に住む人が、心の豊かさを感じるでしょうか。家の形はできて、その家に込められた技や大工の誇りがなければ、住む人も豊かさを覚えないはず。です。

「貫」を始め鑿で手刻みする伝統技術は、大工によって継承されてきました。工場生産の部材を組み立てるだけでは、大工ではなくて組立工です。山に生えている木の姿を見、木材に墨付けをして鑿で手刻みし、建ててこそ大工。確かに時代と共に家づくりも変わりましたが、茶室の中村昌生先生が、「伝統的木造建築における日本の建築を高めた工匠の技は世界に誇りうる日本の文化遺産である」と提唱されていたその思いを受け継いでいきたい。

おんこうの住まいづくり



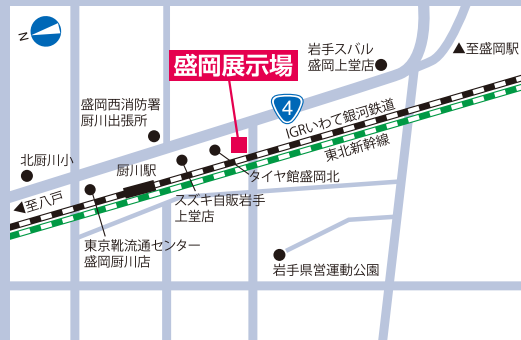
## 株式会社 大山建工

本社 ●三戸郡五戸町大字切谷内字淋代14-1  
TEL.0178-68-3353 FAX.0178-68-2454

本部 ●八戸市大字河原木字千刈田7-1  
TEL.0178-21-3055 FAX.0178-21-3033  
<http://ooyamano-ie.jp/>

内舟渡常設展示場 ●八戸市長苗代字内舟渡84-13 産業道路沿い  
TEL.0178-21-3055

盛岡営業所・展示場 ●盛岡市厨川1丁目21-30  
TEL.019-601-7311 FAX.019-601-7134



# 有限会社 キーポイントホーム



## 丁寧な仕事ぶりに感心

2019年度第12回あおもり産木造住宅コンテスト  
審査員特別賞受賞

田沢 様邸 **ユーザー訪問**

### DATA

弘前市国吉 2018年12月竣工  
 ■延べ床面積/39.82坪(131.66㎡)  
 ■使用青森県産材/《構造材》ヒバ(土台)、スギ(柱)、カラマツ(梁)《内装材》スギ無垢材(床、壁、天井、階段の格子)、スギ集成材(建具、カウター)、タモ集成材(階段)。

## 隣家の工事見て決めた

建て替えた家に暮らし始めてわずか半年の田沢様のご主人に、良好な変化が現れた。血圧が、下がった。高血圧の薬を「もう飲まなくていいですよ」と医者に言われ、長年の服用から解放されたのだ。——著書『ピンピンコロリ』で知られる医学博士の星旦二先生が説く健康長寿の秘訣は「暖かい家」と「ペットとの暮らし」だ。その提唱と一致する家づくりを展開する(有)キーポイントホームで建てた田沢様邸。青森県産材と漆喰に囲まれた室内は空気がきれいで、冬はどの部屋も23℃と暖かく、犬1匹、猫2匹と暮らす、これぞ快適条件を満たした健康住宅をご紹介します。

キーポイントホームの建築現場を見て、工事の丁寧さに惚れ込んだお客様が、自宅をキーポイントホームに依頼して建

てる——工務店にとってこれ以上ありがたい受注パターンはないが、これが「隣どうし」となると、稀である。「当社としても



奥様の要望で設けられた物干し場のウッドデッキ。スギの分厚い格子状の壁面が外観に重厚感を与えている



居間の座卓の下は足を伸ばせるように掘りごたつ式に。床も腰壁もカウンターにも使われたスギの木肌が目に柔らかい

初めてのことでした」と阿保勝之社長。その稀なケースが、田沢様邸なのだ。

田沢様の隣家で、建て替え工事が始まったのは2015年4月。「基礎にびっくりしたんですよ」と奥様が振り返る。「とにかく丁寧でね、この近辺では同時に何軒か建て替えが始まったんだけど、よその基礎はとつくに終わったのに、お隣はそれからさらに倍くらい日数がかかってやっと完成したんです」。ご主人も、「途中、工事を休んだとかじゃなく、業者さんが毎日現場に入っているのに、ですよ。カレンダーを見たら40日かかっていました。丁寧というより、そもそも基礎の打ち方が違うんですね。あんなに手間をかけた頑丈そうな基礎は見たことがありませんでした」と口を揃える。

田沢様の住まいの問題は、屋根雪だった。白神山地の近くだけに雪の量が格別多く、屋根からの落雪で家が埋まるほどに

降る。なんとかしなければ——。屋根リフォームの計画が現実味を帯びたのは2015年。隣家で建て替えが始まったのだ。基礎工事の丁寧さには驚いたが、ご夫婦の最大の関心事は、三角形でありながら雪が落ちないという無落雪屋根であった。

隣家が完成したのは10月。それからふた冬の間、隣家の屋根から雪が滑り落ちることはなかった。四角い無落雪屋根なら知ってはいたが、スノーストッパーを付けた三角形の無落雪屋根をご夫婦が目にしたのは、お隣の家が初めてであったのだ。

2018年1月。阿保勝之社長に電話がかかってきた。「お隣の田沢さんが、屋根を直したいそうですよ」と。電話の相手は、田沢様の隣家の、2年ほど前にキーポイントホームで建てた施主であった。田沢様から声をかけてくれるように頼まれたと聞いて、阿保社長は



キッチンの造り付け食器棚も抗菌・調湿性の高いスギ製

驚いた。今までになかったことだ。——ひよっとすると2軒並んでユーザーになるかもしれない。

——屋根リフォームの計画から始まったのですね。

**奥様の話**（頷きながら）わが家の雪がお隣の敷地にもかかるんですよ。お隣さんからは雪のことで一言も言われたことはなかったけど、それだけに気を



使うしね。車庫の屋根からもうちの玄関前に落ちてくるし、ほとほと雪には困っていました。冬になるたびに、とにかく屋根をなんとかしなければって。

**ご主人の話** 建て替える以前の家は築40年でした。古いし、寒いし、壁のクロスは結露するし、屋根雪のことばかりじゃなくあちこち問題はありましたけど、とりあえずは屋根をリフォームをしよう。そう考えていたときにお隣で建て替えが始まったんですよ。

**落雪がない三角の屋根 わが家もリフォームを**

**奥様の話** 何回も言いますけど、びつくりしたんです、あんな丁寧な基礎工事は初めて見ましたから。すぐ隣なので、窓から様子が見えるんです。丁寧で、何日経っても終わらないんですよ。犬を散歩に連れて行くと、近くでも建て替えている所があつて、比較するわけじゃないけど、同じ基礎でもずいぶん違うもんだなと見てい

ました。

**ご主人の話** 以前の家は、基礎にベースはありませんでした。玉石がベース代わりでした。あの頃はみんなそうでしたよ。採石場から漬物石より大きな石を運んできて、それを敷いたもんです。わが家の工事が始まって、地盤を掘ったら玉石がごろごろ出てきて、記念に2つ3つ取ってあります。

**奥様の話** 基礎だけでもそれだけ丁寧なら、建物もきつと丁寧なんだろうって娘とも話していたんですよ。娘はもう嫁に行っていましたけど、孫を預けている保育園がこの近くにあるので、毎日うちに来るんです。一緒に工事を眺めていました。

**ご主人の話** お隣が完成したのが4年前の秋(2015年10月)でした。屋根は普通の三角形でしたけど、それが初めて見る三角の無落雪屋根だったんです。屋根面に横の棧(スノーストップパルーフ)がいっぱい並んでいて、雪止めの役割りをする







床、腰壁、天井にスギが張られた2階の洋間。窓にはガラスが3枚入りのトリプルサッシを使用し、高い居住性能を保つ

んですね。わが家も、その屋根に直せば、落雪から解放されるわけです。長男を交えて家族会議をしました。それが2年前（2017年）の年越しの日でした。リフォームをするか、しないかじゃなく、よしやろう、と。年明けに、直接こっちからじゃなく、お隣にお願いでキーポイントホームに連絡してもらったんです。

**奥様の話** いざやると決まったら、屋根だけじゃなく、居間の座卓の下は足を伸ばせるように掘りごたつみたいにしりたいし、物干し場のウッドデッキも欲しいし……と、直したいところが次々に出てきてね。

**県産の「木」がポイント**

**W断熱効果で室温一定**

**阿保社長の話** 春になるまではリフォームの方向で話を進めさせていただきました。残るは基礎の確認です。鉄筋が入っているかどうか。雪解けを待って計器で調べてみたら、鉄筋は

入っていませんでした。鉄筋も  
ベースもないとなれば、建物を  
持ち上げて基礎を打ち直さな  
ければなりません。リフォーム  
と建て替えの2通りの見積も  
りを出すことにしました。リ  
フォームの金額が跳ね上がるこ  
とは明らかでした。土台上げだ  
けでかなりコストがかかるので  
す。見積りもりの結果、ほぼ同額  
になりました。それなら全部が  
新しくなる建て替えがいいに決  
まっています。抱えていた問題  
が全部解決しますしね。

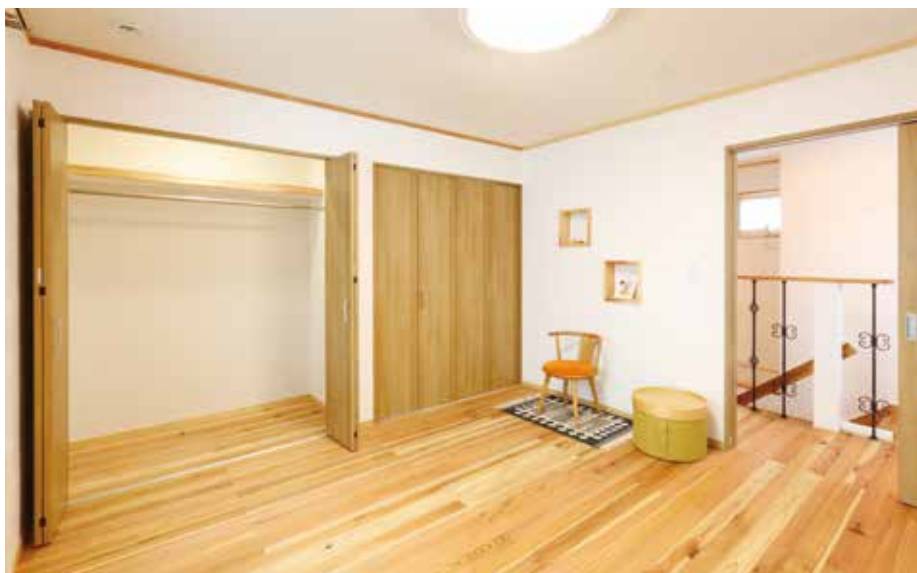
—— キーポイントホームの家  
づくりの「こだわり」は基礎  
だけではありませんね。

**阿保社長の話** 当社の家づく  
りに欠かせないポイントは、  
「木」と「ダブル」と「トリプル」  
です。キーポイントの「キ」でも  
ある「木」は、「青森県産材」のこ  
とです。無垢材と一口に言っ  
ても、工場生産の合板でなく自然  
の木なら無垢材には違いあり  
ませんけど、床に張る無垢の板  
が中国産でもそれを無垢材と

呼ぶのは、当社の家づくりとは  
異なります。あくまでも地元  
の山に育った木から製材したも  
のが当社の言う「無垢材」です。  
なぜこだわるかと言いますと、

同じ地域の環境で育った木は  
家にも住む人にも「馴染む」か  
らです。昔から家は近くの山の  
木で建てたものです。そこに家  
づくりの原点があります。祖父

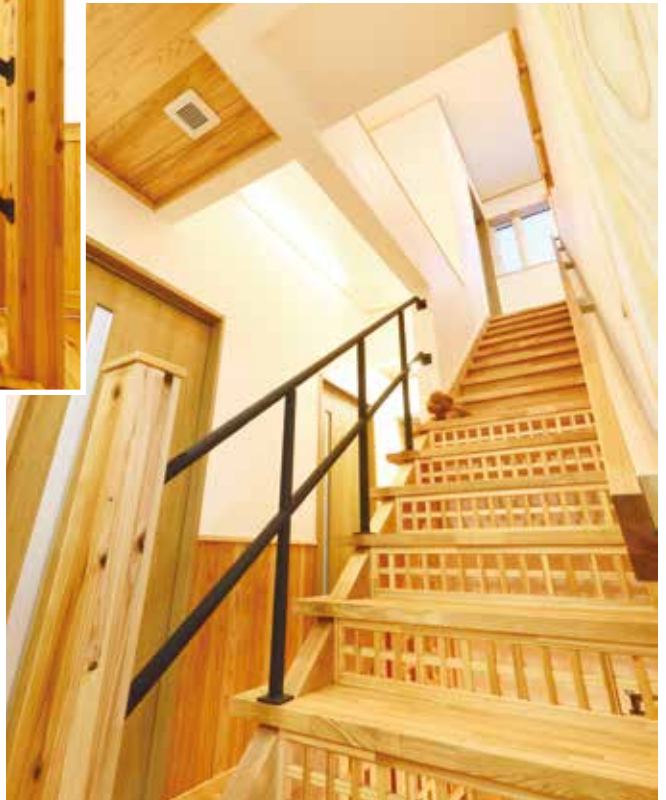
が植えた木を使って孫が家を  
建てる——そういう「近場」での  
循環が山を守ってきたし、海外  
から運ぶための二酸化炭素を  
発生させなくても済んでいた



部屋の床は全て柔らかくて温かいスギの板が使用されている



階段下に設けられた格子戸の内部は猫の部屋



目に柔らかなスギの色合いと手摺りの黒い金属がマッチしている

わけですね。

2つ目の「ダブル」は、ダブル断熱を意味します。柱と柱の間に綿状の断熱材を入れる充填断熱と、柱の外側に発砲系の板状の断熱材を張る付加断熱。内と外から壁を挟む施工法がダブル断熱です。高い性能が伴ってこそ快適な「住み心地」は得られます。

基礎の立ち上がりを発砲系

の断熱材で挟むダブル断熱もそうです。それに加えて基礎の内側の断熱材に沿わせて床下コンクリートに3尺幅で断熱材を敷いているのも、念を入れて冷気の侵入を防止するためです。屋根の垂木を二重にしているのもそうで、外壁と屋根垂木とを一体に断熱材で覆ってしまつた上にさらに垂木を取り付けることによって、寒気も暑熱も二重に防げるからです。

3つ目の「トリプル」は、サッシのことです。ガラスが3枚入りのトリプルサッシ。掃き出し窓は面積が大きくて熱が逃げやすいだけにこれは欠かせません。徹底した分、快適性は高まります。

—— 展示場はご覧になられましたか。

**奥様の話** 娘と行きました。一回見てみようって。気に入ったのはリビングの床板でした。足の感触が良かったんです。柔らかくて、あったかくてね。県産のスギを使っているんだそうで

す。地元のスギがそんなにいい木だとは、阿保さんの説明を聞いて初めて知りました。それと、階段(蹴上げ)の格子になつた中が犬の部屋になつていて、「これいい」って思わず声が出ましたよ。うちにも犬が2匹、ネコが2匹いるんです。わが家にも階段下に作ってもらうことにしました。犬ではなく猫の部屋になつていきますけどね。実は、家が完成して引越したその日に、もう1匹いた年寄りの犬が見届けるように亡くなったんです。頑張つて待つていてくれたんですね。

## 「ニオイ」が全くしないスギの消臭効果抜群

**奥様の話** わたしらはいつも一緒に暮らしているから慣れてしまつてはいるけど、家に来た人にはベットのニオイが鼻につくんじゃないかと、つい聞くんですよ、「ニオイませんか」って。でも皆さん、「ぜんぜんしない」と。そういうえば展示場を見に行つ



居住性能の高い「木の家」はペットにとっても心地よさそう

たときもニオイはしていませんでしたね。

**阿保社長の話** これも「木」の効果なんです。スギの効果として湿気を吸う「調湿」が挙げられます。抗菌および消臭効果です。スギの特性なんです。それと内壁のすべてに漆喰を塗っていますから、相乗効果でニオイは完全に消えているんです。

**ご主人の話** 弘前で開かれた星旦二先生の講演(2018年10月、キーポイントホーム主

催)を聞きに行きましたよ。印象に残ったのが血圧の話です。

先生の自宅をリフォームして部屋が暖かくなったら、奥様の血圧が下がったとか。先生の講演があつたときに、わが家は建て替えの最中でした。それから2か月後の12月に完成して、住み始めたなら、私にも奥様と同じことが起こったというわけですね。自分から血圧の薬をやめたのではなく、医者に言われたんですよ、もう薬を飲まなくてもいい、って。明らかに家が変わっ

たことによる変化ですよ。星先生が、世界で一番大事なものは「平和」で、その次が「住まい」だと言っていましたけど、そのとおりで、毎日暮らす住まいは健康に密接なものだし、改めて「木の家」ってすごいなと思いましたがね。「キーポイントホームの家」と言わなきゃね。

**奥様の話** 犬も、以前は心臓が悪くてよく咳をしていたものだけ、この家に住むようになってからは咳が出なくなりましたよ。わたしらはリビングでくつろいで、隅では犬が寝ている、猫は階段の下と、もう1匹は主人のベッドで丸くなっています。ペットも心地いいんです。住んで半年ですけど、もう何十年も住んでいる感じがするんですよ。

.....

【田沢様邸の住宅性能】...▼暖房は、ガスとヒートポンプの両方を使えるハイブリッド給湯・暖房機器▼高い住宅性能を長期間にわたり保つ長期優良住宅▼ZEH(ゼロエネルギーハウス・太陽光パネル5kW搭載)



有限会社 キーポイントホーム

弘前市泉野3丁目11-11  
TEL.0172-88-7705 FAX.0172-88-7706  
http://www.ki-pointhome.com/  
E-mail: staff@ki-pointhome.com

